

宗谷線維持粘り強く

名寄市長 国への要請、さらに

【名寄】定例市議会は20日再開し、4氏が一般質問を行った。加藤剛十市長は7月にJR宗谷線維持に向けて沿線自治体が行った国土交通省への要請について「JRの経営状況などを考えると、国がかなり踏み込んで抜本的な施策を講じない限り、宗谷線を含めて鉄道の維持は難しいと考えている」との見解を示した。

加藤市長は「豪雪地帯の鉄道の重要性、稚内が国境と面する国土保全の観点など、地元の声をしっかり受け止め、宗谷本線活性化推進協議会などで粘り強く、あらゆる機会に要請活動をしていきたい」と述べた。佐久間誠氏（市民連合）への答弁。

サンヒラーパークにヒマワリ観光に訪れた人数が今夏は7965人と、名寄を舞台にした映画「星守る犬」公開の2011年の1万3207人をピークに減少している問題で、加藤市長は「大規模ヒマワリ畑の復活など、観光振興計画の見直しの中で（市民に）知恵を出していただき、ヒマワリが名寄の象徴だといえるまちづくりが進められればよい」と答弁した。東川孝義氏（市政ク）への答弁。

築26年の葬祭場「名風聖苑」について市側は「利用状況を踏まえて冷房設備の導入などを検討したい」とした。山崎真由美氏（市民連合）への答弁。

（西野一弥）

議会だより

ハザードマップ「作り直